赤門だより

その人らしい暮らしを支える

医療と介護で地域に根差す
赤門ヘルスケアグループの季刊広報誌

vol. 45

特集

126年の地域医療とチームワーク 赤門整形外科内科

連載

医療・介護 現場の目
「正常を知って、異常に気づく」

簡単！ 家リハ
「座ってできる腰痛予防運動！」

Akamon Healthcare Group

目次

特集
126年の地域医療とチームワーク ―― 3〜8
赤門整形外科内科

赤門ニュース ―― 8

連載① 医療・介護 現場の目 ―― 9
「正常を知って、異常に気づく」
赤門整形外科内科 看護次長 鈴木 幸子

連載② 管理栄養士が教える 食べて元気になるメニュー ―― 9
その①「高齢者の低栄養に注意!」
介護老人保健施設 なのはな館 みさき 管理栄養士 鈴木 貴子

連載③ Zoom Up 職員紹介 ―― 10
医療・介護の現場を支える様々なスタッフをご紹介します。
株式会社ケアサービス・まきの実 清掃 小倉 美代子

連載④ 簡単!家リハ ～いつまでも自分らしい健やかな身体をキープ～
その3 座ってできる腰痛予防運動! ―― 10
介護老人保健施設 なのはな館 みさき 理学療法士 長谷川 理恵・作業療法士 田沼 聡子

イベントニュース ―― 11

事業所イベント情報 ―― 11

赤門整形外科内科 ご利用のご案内（2014年8月時点） ―― 12

赤門ヘルスケアグループ事業所一覧 ―― 12

この一枚 ―― 12

【赤門の由来】

江戸時代に南部藩（現在の盛岡）の御常宿として通称「南部屋」の名称で呼ばれていた鈴木家は、交易の司処として南部藩主より、門柱に朱塗りを、塀の上には高張り（庇）を許されました。この朱塗りの門すなわち〝赤門〟が名称の由来として今日まで継承されています。

赤門 ヘルスケアグループ

「赤門だより」は、赤門整形外科内科を中心とする赤門ヘルスケアグループ（医療法人社団慶勝会および株式会社ケアサービス・まきの実）による共同発行の季刊広報誌（2月・5月・8月・11月発行）です。

当グループは、明治21年（1888年）「赤門鈴木医院」の開院以来、館山・南房総を中心に皆様方のご支援を受けて、医療・介護に取り組んで参りました。また地域でも早くから認知症対策に力を注いで参りました。これからも「その人らしい暮らしを支える」の理念の下、地域の皆様に貢献するべく絶えず邁進してまいります。

初代鈴木勝太郎の肖像。後ろの建物は開業当初の「赤門鈴木医院」。馬による往診は江戸期以来の医者の象徴的な姿と言われる。

特集

126年の地域医療とチームワーク
赤門整形外科内科

前身である「赤門鈴木医院」の開業から今年で126年。時代毎に地域が抱える様々な課題に対し、チームとして取り組む赤門整形外科内科の今を、手術体制やリハビリテーションを中心にご紹介します。

◉施設概要
名称：赤門整形外科内科
診療科目：整形外科、内科、外科、小児科、リハビリテーション科、
認知症外来、スポーツ整形外科、消化器内科、神経内科、腎臓内科
開設年：平成9年（前身である赤門鈴木医院は明治21年（1888年）開設）
病床数：19床

住所：〒294-0034 千葉県館山市沼1619 TEL. 0470-22-0008 FAX. 0470-23-2836 URL：http://www.keishokai.or.jp

1 常に地域の今と向き合って

赤門鈴木医院の開業以来、今も変わらない地域医療への姿勢

明治から続く地域医療への取り組み

赤門整形外科内科（以下、赤門整形）は、明治21年（1888年）鈴木勝太郎による産婦人科「赤門鈴木医院（後に赤門病院へ変更）」の開業に始まります。

記録によれば勝太郎は、患者様の家々を馬で往診し、また関東大震災では被災者や家族の治療に無償であたったということです。当時の勝太郎の、地域への取り組みの様子がうかがえます。

続く2代紀（おさむ）、3代勝（まさる）も、大戦前後から高度経済成長期を通じて地域医療に尽力しました。

2代 鈴木 紀（おさむ）
戦時中は一時満州でも産婦人科医院を開業していた。

3代 鈴木 勝（まさる）
地域の課題を踏まえ、赤門整形への改組と新築を進めた。

「震災被害者の家族に限り無料治療」と書かれた立札。関東大震災の被災者や家族へ無償で治療を行った。（写真提供　館山市立博物館）

宮川 準　院長
看護師育成の取り組みが評価され、今年「医療功労賞（読売新聞社主催）」を受賞した。

どんな時でも受け入れる

昭和63年、赤門病院は新築され赤門整形へ改組されました。現在は整形外科・内科医である宮川準院長を筆頭に、各種内科や認知症外来など10の診療科目を掲げます。

またこの安房地域において、高度医療を除けば、骨折症例の救急受入～入院～手術まで対応出来るのは亀田総合病院（鴨川市）、安房地域医療センター（館山市）、赤門整形の3つであるため、「常に救急を受け入れられる体制を維持するのが責務」とする宮川院長の意向の下、救急搬送の受入体制にも力を入れています。

宮川 慶 整形外科医
「体をメンテナンスするつもりで整形外科を利用して欲しいと思います。日頃のケアが大きな事故を防ぎます。」

1F 待合室の様子

高齢者の手術の負担を軽減

　近年高齢者の転倒による骨折が増加しており、赤門整形でも大腿骨頸部骨折などの手術を数多く行っています。患者様の平均年齢も85歳と高齢化（時には100歳以上の方も）が進む中で、患者様の身体的負担を軽減するため、手術体制の見直しを行いました。

　手術の効率化や機器・設備の刷新、環境の整備などと共に、骨折手術においても、骨密度の低い高齢者でも接合でき切開部も小さく済むツインフック式を採用。今では最短30分で行える様になりました。

宮川慶医師による外来診察の様子

　また高齢者は手術上のリスク～血圧や血糖値、既往歴、合併症、疾病の潜在や栄養状態、日々の薬が妨げにならないか等～が高いため、木村愛医師など内科医が術前に内科診察を行い、執刀医や看護師、リハビリ職員や栄養士等と情報共有する事で、より安全な手術の実施や、最適な入院環境への速やかな移行といった院内連携がなされています。

　宮川院長と共に執刀を担う宮川慶医師は言います。「一刻も早く痛みを取り除く事が重要。負担を最低限に出来れば、回復のためのリハビリもすぐに開始出来るんです。」

木村愛医師による病棟回診の様子

木村 愛 内科医

高齢化に伴い、何らかの内科的問題が潜んでいる患者様が増えています。普段から体の状態を把握する事が大切です。

受付では患者様への笑顔とおもてなしの心を最も大切にしている。

Tips 大腿骨頸部

　太ももの骨が股関節につながる部分にある部位。特に骨粗しょう症で骨がもろくなった高齢者が、転倒などにより骨折する事が多く、日本では年々増加している。その性質上治りにくい部位で、骨折をきっかけに認知症の進行や運動機能の著しい低下など、要介護状態となる高齢者も少なくない。

2 速やかな医療体制を支える職員の連携

常に声を掛けあう職種間のオープンな連携が、地域の今に向き合う医療体制を支えている。

職種間の情報共有と連携

赤門整形では、患者様を見守る体制～一人の患者様をドーナッツの様に各職種が囲んで～を、とりわけ職員個々が強く意識しており、職種間のコミュニケーションを非常に大切にしています。

外来と病棟それぞれで毎朝看護師を中心に申し送りが行われますが、外来では当日の診療や手術予定等の確認と共に、前日からの夜勤を担当した病棟の看護師も交え、退院後に通院される患者様の状況など情報交換されます。

病棟でも、リハビリ職員や相談員、管理栄養士が参加し、体温や血圧、食事や前夜の様子、深夜受け入れた患者様の状態、ご家族の要望など確認し合います。

職種間を通じて医院全体で細かく丁寧に情報共有を図っています。

医師と看護師との連携は特に緊密。互いにフラットで意見交換しやすい環境なのも、赤門整形のポイントの一つ。

外来（左）と病棟での毎朝の申し送りの様子。綿密な情報共有により、救急や患者様の急な変化にも医院全体で素早く対応出来る。

患者様やご家族とは、常に同じ目線で笑顔と親しみを込めてコミュニケーションをとる。

Tips

急性期医療機関

急激な発症により緊急・重症な状態にある患者に対して、入院・手術・検査など高度で専門的な医療を提供する医療機関。病気の進行を止める、状態が安定する、回復が見込める目途がつくまで医療を提供し、その後患者者は退院、または亜急性期や回復期の医療機関へと転院などする。

リハビリ〜退院・復帰を速やかにサポート

そうした職員の意識の高さは、例えば速やかで柔軟なリハビリの実施を可能にします。

手術においても、術前から積極的に医師・看護・リハビリ職員が相談を重ね、術後すぐに回復に向けたリハビリを開始する事が出来ます。また毎週医師との会議において、全ての患者様のリハビリ内容を細かに見直しています。急性期医療機関である赤門整形においては、特にリハビリ部門との積極的な連携は非常に重要で、患者様の一日も早い退院・復帰に大きく寄与しています。

2Fリハビリルーム。外来や入院されている患者様へ、温熱機器などによる物理療法や、理学療法士など専門スタッフによる理学療法を提供している。

相談員は患者様やご家族と相談を重ね、最適な復帰の道筋を共に見出してゆく。

こうした連携の下、相談員が患者様の最適な復帰へのお手伝いをします。

患者様やご家族の要望や実情を丁寧に把握し、最適な医療体制や退院後のプランを提案・支援します。退院後、お住まいの段差が障害にならないか等、居住環境も併せて考慮し、転院や介護施設の紹介なども行います。

地域の高齢化を背景に、退院して自宅に戻る事が必ずしも最良とはならないケースもあります。そうした患者様やご家族を支援するためにも、相談員は常に地域の医療機関や介護施設等と情報交換を密にしており、そうした活動が、ひいては赤門整形の掲げる「常に救急を受け入れる体制」を支える力の一つとなっているのです。

リハビリルームの他、各病室でもリハビリ指導を直接実施。体の不自由な個所をサポートする自助具の製作・提案もしている。

医院全体が一つのチームとして患者様を支える

また高齢化に伴い昨今は認知症を患う患者様も増えており、より注意深くより迅速な院内外の連携が不可欠となっています（※脚注）。

医院全体として最適な医療を提供するためにも、職員が互いを信頼し合い、常にオープンで声を掛けあえる関係性を大切にし、患者様に安心して健康的な生活を送っていただける様に日々努めています。

毎週の会議には看護師や相談員も同席し、診療や復帰プランも踏まえてリハビリ内容が見直される。

※脚注　ご自宅など慣れ親しんだ環境から急に普段と違う環境下に入ると、認知症は進行すると言われる。術後の回復によって徘徊などが頻繁になる事もあり、少しでも早く慣れた環境に戻る事が重要。赤門整形では認知症ケアに関する勉強会を常に実施している。

3 リーダーの言葉
グループ全体で取り組む地域医療

赤門整形外科内科 院長
宮川 準

歩みを振り返り

この地で医療に携わり、四半世紀以上が過ぎました。

この間患者様の平均年齢も高くなり、地域の高齢化を強く実感します。

在宅での医療・介護支援を目的に、館山市で初となる訪問看護が、その後介護老人保健施設（現なのはな館みさき・なぎさ）がグループにより開設されました。

また赤門整形としても救急の受入体制や手術体制の改善等して参りましたが、地域の現状を見るに、まだまだ取り組みの不足は否めません。

開業以来のご支援に感謝

先日100歳を超える患者様から「自分は赤門で産湯につかった」というお話をうかがい、今日まで地域の皆様から頂くご支援を大変ありがたく思いました。

房州の人は総じて家族や他者との信頼を大切にし、また永く働ける様にと健康に気遣う方がとても多いと思います。その様な地域の皆様からご支援を頂ける事に対し、感謝すると同時に、医院として精一杯お応えしてゆかなければならないと日々痛切に感じています。

チーム一丸となって患者様本位で

「診療は事務で受け付けた時から始まっている」というのが私の信条です。患者様本位の意識を職員全員で、ひいてはグループ全体で持たなければいけません。そのためにもグループ全体にチームとしての信頼関係が不可欠であります。そうした意味において私は赤門グループに対し、地域医療に専念できる今の環境に心から感謝しています。

今後はスタッフや医療環境をより充実させ、これまで以上に地域の皆様に貢献してゆきたいと思っています。

【お問い合わせ】赤門整形外科内科　☎0470-22-0008

Information

NEWS
第8回 赤門ヘルスケアグループ 利用者様作品展 開催

赤門ヘルスケアグループの利用者様による作品展が、館山市南総文化ホールギャラリーで9月26日(金)～10月9日(木)まで開かれます。グループホーム、デイサービスセンター、デイケアなどの利用者様が、日ごろの創作活動やリハビリの一環として作成している作品の展示会です。ぜひご来場ください。(入場は無料です)

【開催日時】
2014年9月26日(金)
～10月9日(木)
9時～17時
(初日13時より、最終日14時まで) 休館日：月曜日

【開催場所】
千葉県館山市北条740-1
南総文化ホール ギャラリー

【問い合せ先】
赤門ヘルスケアグループ 管理部
TEL：0470-25-7300

NEWS
デイサービスセンター神明町 デイホーム神明町 安布里へ移転 新規グループホーム開設

デイサービスセンター神明町、デイホーム神明町がデイサービス安布里、デイホーム安布里として移転します。

また、同建物内にグループホームが新規開設されます。

【開設予定】
2014年11月

【施設概要】
◉**デイサービス安布里**　定員29名
通所介護、介護予防通所介護

◉**デイホーム安布里**　定員12名
認知症対応型通所介護

◉**新規グループホーム**　定員9名
認知症対応型共同生活介護

【施設に関するお問い合せ】
株式会社ケアサービス・まきの実
TEL：0470-30-8488　担当：鈴木・明星

連載 1

医療・介護 現場の目

患者様や利用者様、ご家族とのコミュニケーションで大事にすることは?
現場スタッフが一番大切にする接し方、目を向けるポイントを語ります。

正常を知って、異常に気づく

赤門整形外科内科
看護次長 **鈴木 幸子**

観察力～関心を寄せて看る

医療の現場において私達看護師に求められるものは、専門知識や技術はもとよりコミュニケーション力、対話力、観察力など多種多様です。なかでも観察力は、異常の早期発見にもつながる大切なスキルです。私の考える観察力とは、『相手に関心を寄せて看る』ことです。

“何かいつもと違う”という気づき

患者様から出される様々なサインはとても小さな事が多く、何気なく看ていると見過ごしてしまいます。

異常の発見は、“何かいつもとは違う”という感覚から始まり、無意識のうちに頭の中で正常な状態＝普段の状態と比較して感じ取っていきます。

会話する時も援助の最中も、どんな時でも相手に関心を寄せて看る（＝観察力）ことができれば、その方の普段の状態がわかります。そして観察力を持って接すれば小さな変化に気づくこともできます。

正常がわからなければ、異常にも気づけない

看護学生だった頃、先生が話された「正常がわからなければ異常にも気づけない」というお話を、当時の私は当たり前の事と聞き流していました。しかし、現場での経験を通じてこの言葉の重みを初めて理解した時に感じた“目からウロコ”の感覚は、今でも忘れられません。

私達の仕事は決して楽ではありませんが、小さな変化に気づき、小さな変化にも感動できる人間味に溢れた職場を目指し、皆様からの「ありがとう」の言葉に元気をいただきながら、これからも日々励んでゆきたいと思います。

連載 2

管理栄養士が教える 食べて元気になるメニュー

食べて元気になる食事の“コツ”を
管理栄養士がご紹介!

介護老人保健施設 なのはな館 みさき
管理栄養士 **鈴木 貴子**

その① 「高齢者の低栄養に注意！」

偏った食事や不規則な食生活により、十分な栄養が摂れていない状態。そのままにすると運動機能が低下し、自立生活に支障が出ることも。

〈今回の元気になるメニュー〉

あじの南蛮漬け

ビタミンB1（あじ） ＋ 酢酸（酢） ＝ 疲労回復

〈ひとてまメモ〉
南蛮タレに長めに漬けて
骨まで柔らかくすると
高齢な方でも安心！

★施設の献立をチェック！ メニューのポイントは!?

介護老人保健施設の1日の献立例（7月某日）

朝食	昼食	おやつ	夕食
ご飯 味噌汁 厚焼き玉子 ほうれん草とコーンの和え物 茄子と茗荷の塩もみ 牛乳	ご飯 豚の生姜焼き ひじきの炒り煮 トマトときゅうりのサラダ フルーツ	くず饅頭 麦茶	ご飯 すまし汁 白身魚のおろし煮 もやしのカレー炒め 中華風冷奴

おさえておきたいポイントはこの3つ！

1.色々な食材を食べる
肉・魚・大豆製品・卵・野菜を
バランス良く！

2.残さず食べられる工夫
好みの味付けで、色々なものを
食べよう。食欲が出てきたら、
カロリーや塩分にご注意を。

3.季節の食材を使う
この時期は、夏バテ対策に
夏野菜を入れるとGOOD。

連載3 Zoom Up

職員紹介

医療・介護の現場を支える様々なスタッフをご紹介します。

vol.2 株式会社ケアサービス・まきの実 清掃 **小倉 美代子**

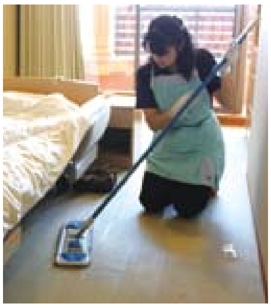
なのはな館なぎさで清掃スタッフとして働く小倉さん。
仕事に対する心構えを伺いました。

療養室でリラックスされている利用者様が多いので、入室時の挨拶やお声掛けなど会話のコミュニケーションを積極的に行っています。プライベートな空間を任されているという意識を持ち、利用者様と信頼関係を築けるよう頑張っています。

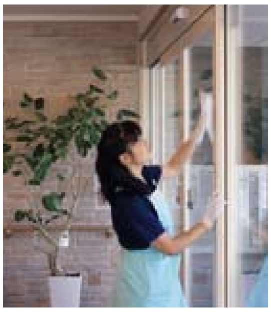
【主な業務内容】
- 療養室、フロアの清掃
- トイレ、シンクの清掃
- お風呂の清掃
- ゴミ捨て

【仕事に対する心がけ】
- 次に何をするべきか、常にアンテナを立てて行動する
- マニュアルに従うだけではなく、ポイントを押さえて作業工程を組み立てる
- 利用者様の立場にたち、音をたてたり、物を当てないよう細心の注意を払う

トイレの清掃


療養室のモップ掛け

エアコンの埃取り


ガラス窓の雑巾がけ

連載 4

簡単! 家リハ

いつまでも自分らしい健やかな身体をキープ
リハビリの専門スタッフがご自宅で手軽にできるメニューをご紹介

その3 座ってできる腰痛予防運動！

監修：介護老人保健施設
なのはな館 みさき

理学療法士
長谷川 理恵

作業療法士
田沼 聡子

ポイント
筋力強化と柔軟性維持

腰は身体を支え、文字通り体の「要」となっています。腰は非常に複雑な部位であるため、腰痛の原因も様々です。また、老化による骨の変形や腰を支えている筋肉の衰えなども大きく関係しています。腰への負担を軽減するためには、腰に関わる筋の理解を深めながら、筋力や柔軟性を維持・強化することが大切です。
今回は腰痛を予防するために、座ってできる腰回りの運動をご紹介します。

① 骨盤を前後にゆっくりと動かす。

② 背筋を伸ばし、肩を水平に保ちながら、
片方のお尻を持ち上げる。

いかがでしたか？もし、痛みや日常生活に何か問題が生じている場合は専門の整形外科などにご相談を。
※順番などはお好みで、回数もご自身の体調に合わせ、無理のない範囲でお試し下さい。

イベントNEWS

2014年5月20日(火)

毎年恒例！　初夏の外出

デイホーム柏崎

デイホーム柏崎では、利用者様と職員で館山野鳥の森に出かけました。館内の見学や森林浴をしながらのんびりと雑談をして、楽しいひと時を過ごしました。昼食は職員手作りの柏崎特製弁当を囲み、爽やかな風が心地よい、初夏の外出を満喫しました。

2014年6月19日(木)

中華バイキングでランチ！

デイサービスセンター神明町

デイサービスセンター神明町にて、今年で2回目となるランチバイキングを行いました。今回は中華料理をテーマにし、春巻きやシュウマイなどの点心を始め、利用者様の目の前で調理した焼きたて餃子などを召し上がっていただきました。利用者様、職員共に普段とは違う昼食を楽しみました。

各施設の日々の様子やイベント情報は、ホームページでもご紹介しています。

医療法人社団慶勝会 慶 勝 会 検索　株式会社ケアサービス・まきの実 まきの実 検索

それぞれの「新着情報」からご覧になれます。

～家族会（グループホーム広瀬ガーデン）～

～演芸鑑賞（グループホーム堂の下ガーデン）～

～寿司バイキング（なのはな館みさき）～

～園児とじゃがいも掘りに挑戦（グループホーム相浜ガーデン）～

2014年10月～2015年1月の主なイベント予定

10月
ハロウィン
運動会
防災訓練

11月
紅葉狩り
家族会

12月
クリスマス
忘年会

1月

初詣
新年会
餅つき

詳しくは各事業所にお問い合わせ下さい。

赤門整形外科内科 ご利用のご案内　（2014年8月時点）

診療時間	月～金	（午前）9：00～12：00（午後）14：00～18：00
	土曜日	（午前）9：00～12：00（午後）14：00～17：00
リハビリテーション	月～金	8：30～19：00
	土曜日	8：30～17：00
外来受付時間	月～金	8：30～18：00
	土曜日	8：30～17：00
休診日	日・祝・祭日、年末年始（12月30日～1月3日）	

最新の外来予定は
こちらのQRコードから
ご確認いただけます。

救急告示診療所・労災指定・生活保護法指定・原爆医療指定・公害・特定疾患・身体障害者福祉法指定医

赤門ヘルスケアグループ　事業所一覧

●医療法人社団慶勝会

赤門整形外科内科
〒294-0034 千葉県館山市沼1619
TEL. 0470-22-0008　FAX. 0470-23-2836

介護老人保健施設 なのはな館 みさき
〒294-0303 千葉県館山市浜田110-1
TEL. 0470-29-2700　FAX. 0470-29-2777

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ
〒294-0045 千葉県館山市北条2832
TEL. 0470-24-2700　FAX. 0470-24-2701

なのはな訪問看護ステーション
〒294-0034 千葉県館山市沼1604-4
TEL.0470-24-3113　FAX.0470-24-3117

ホームヘルプサービスなのはな
〒294-0034 千葉県館山市沼1604-4
TEL. 0470-24-1226　FAX. 0470-24-3117

赤門ケアプランセンター
〒294-0034 千葉県館山市沼1637-1
TEL. 0470-22-0023　FAX. 0470-23-6160

館山市地域包括支援センターなのはな
〒294-0034 千葉県館山市沼1604
TEL. 0470-22-1350　FAX. 0470-22-1351

管理部
〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1、1階
TEL. 0470-25-7300　FAX. 0470-25-7301

●株式会社ケアサービス・まきの実

グループホーム堂の下ガーデン
〒294-0056 千葉県館山市船形827-11　TEL. 0470-20-5228/0470-27-4888
FAX. 0470-20-5228

グループホーム神明町ガーデン
〒294-0045 千葉県館山市北条1173-6　TEL＆FAX. 0470-24-5075

グループホーム広瀬ガーデン
〒294-0008 千葉県館山市広瀬368-1　TEL. 0470-20-6221/0470-20-6222
FAX. 0470-36-1022

グループホームやつかガーデン
〒299-2415 千葉県南房総市富浦町深名656-1　TEL. 0470-33-3113 FAX. 0470-33-3114

グループホーム相浜ガーデン
〒294-0235 千葉県館山市相浜75-1　TEL. 0470-20-7511 FAX. 0470-28-3588

デイサービスセンター神明町
〒294-0045 千葉県館山市北条1180-1　TEL. 0470-25-5766 FAX. 0470-24-3090

デイホーム柏崎
〒294-0034 千葉県館山市沼1627-2　TEL. 0470-25-5337 FAX. 0470-22-8101

デイホーム西の浜
〒294-0034 千葉県館山市沼865　TEL. 0470-23-3319 FAX. 0470-23-3392

デイホームやつか
〒299-2415 千葉県南房総市富浦町深名656-1　TEL. 0470-33-3113 FAX. 0470-33-3114

デイホーム神明町
〒294-0045 千葉県館山市北条1180-1　TEL. 0470-25-5766 FAX. 0470-24-3090

生活支援サービス、福祉用具レンタル・販売
〒294-0034 千葉県館山市沼1630-1　TEL. 0470-28-4025 FAX.0470-29-5211

介護タクシー
〒294-0034 千葉県館山市沼1630-1　TEL. 0470-29-5210/080-8809-8881

本　部
〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1-2階　TEL. 0470-30-8488 FAX. 0470-29-5206

介護タクシー・まきの実

電話一本で対応。お気軽にご連絡下さい。

通院、買い物、
外出、観光など、
皆様の暮らしの
足としてお気軽に
ご利用下さい。

介護保険外サービス・生活支援サービスも承っております。

電話 0470-29-5210／080-8809-8881

［この一枚］

赤門整形入口正面に立つビャクシンの木は、樹齢約500年とも言われています。
赤門鈴木医院が開業するはるか前から、この地の様々な移り変わりを見つめてきました。現在は地域の暮らしと共に、患者様や私達職員を見守ってくれています。

赤門ヘルスケアグループ季刊広報誌「赤門だより」　通巻45号
（医療法人社団慶勝会・株式会社ケアサービス・まきの実　共同発行）
発行・責任：「赤門だより」編集発行室
〒294-0034　千葉県館山市沼1599-1、1階
TEL.0470-25-7300 FAX.0470-25-7301
医療法人社団慶勝会 http://www.keishokai.or.jp
株式会社ケアサービス・まきの実 http://www.makinomi.co.jp
発行日：2014年8月15日（年4回 2月・5月・8月・11月発行）
編集・印刷：有限会社PJCデザイン
写真：青写真